



もりおかクラブ事務所：〒020-0021 盛岡市中央通3-7-18 ラ・パルク中央 1階 Tel 019-623-1575 盛岡YMCA内
盛岡YMCA HP <http://www.ymcajapan.org/morioka/> 検索エンジンワード「盛岡YMCA」

8月の聖句 マタイによる福音書 6章33節



「まず神の国と神の義とを求めなさい。そうすれば、これらのものは、すべて添えて与えられるであろう。」

「主題」

国際会長	チャーミング・シェン
アジア太平洋地域会長	利根川 恵子
東日本区理事	山田 公平(宇都宮)
北東部長	大久保知宏(宇都宮)
もりおかクラブ会長	長岡 正彦

「より良いコミュニケーション」
「太陽の輝きと笑顔」
「ワイズの方向性を見極める」
「クラブのミッションを育てよう」
「リーダーの志を、全力で支えよう」

会長	長岡 正彦
副会長	山口 貴伸
書記	濱塚 有史
会計	大関 靖二
担当主事	東森 聡(たもり)
メネット	井上 優子

令和2024年9月定例会
日時、場所 9月21日(土)
18時～20時 (第3土曜日)

ご案内は、別途いたします。

会長巻頭挨拶



長岡会長

みなさまこんにちは、長岡でございます。

24日の納涼例会は楽しく過ごさせていただきました。出席ありがとうございました。

8月のさんさ踊りに出店して販売を行った富士宮焼きそばですが、4日間で400食強の数を売りました。リーダーたちの献身的な

協力を得て、無事完売できました。販売利益を盛岡YMCAの常議委員会の場で、濱塚総主事へ10,7390円渡すことができました。人権かるたの制作費に充てるということです。頑張りが具体的な利益確保につながったことを大変うれしく思っています。

さて、今月のブリテンは記念すべき200号です。100号の時はカウントを間違えて、幻の100号になってしまいましたが今回はしっかり200号として皆様にお届けできるのが嬉しいです。もりおかクラブ発足から17年、よく書き続けてこられたと自分ながら褒めてあげたい気分です。頭ははげで、見た目も老けてしまい、体調もあちこちガタがきていますが、ブリテンはもう少し書き続けられそうです。毎日、暑く寝苦しい夜が続いていますが、夏

はもう終わりを告げます。接近中の台風10号が過ぎれば、秋雨前線も南下して、さわやかな秋がやってきます。このブリテンが皆様のところに到着するころには、秋風が吹いていることでしょう。

納涼例会の二次会で、中座して喫煙ルームに行ったとき、先客のカップルがいました。とりとめのない話の中で、「おじさんは50代ですか」と聞かれ、即座に「そうだよ」と答えました。本当は66歳、なんか嬉しかったです。

8月納涼例会のご報告

2024年8月24日(土)、盛岡北ホテルにて開催。参加者、三田、長岡、濱塚、井上、井上優子、加藤(敬称略)以上6名。

ゲストリーダー、渡邊夏生さん(チューバ)、山口満穂さん(しらたま)、藤田楓さん(チーノ)、横山結花さん(ひつつみ)以上4名、全10名で開催しました。

8月は納涼例会です。暑い夏を物ともせず元気に集まっていただきました。ありがとうございます。濱塚メンの食前感謝は初めて聞いたような気がします。できるのですねちょっと感動。ゲストの「チーノ」と「ひつつみ」は初参加です。二人とも10代で未成年

です、ソフトドリンクで乾杯です。



お、この合成写真うまいった。乾杯～

酔うほどに口がなめらかになり、何を話したか覚えていませんが、大関さんがお休みのため穴埋めでしゃべり続けていたような気がします。ちなみに大関さんは腰痛再発のため療養中です。早く良くなることを願いつつ、いない人の事は忘れて、楽しくすごしました。大関さん失礼しました、すみません。でも居なくても話題になる大関さんの存在はすごい。参加者が少ないために

真夏の夜、語り合おう

山口満穂さん(しらたま): 能登地震で被災した子供たちのキャンプが2回ありました。盛岡からは5名のリーダーが参加しました。「チューバ」と「はなまる」は2回参加、前半は小学校高学年、後半は低学年、私は低学年のキャンプに参加しました。被災経験の子供達です、自宅の取り壊しの話、輪島が大好きだという話、心の大きな傷はこの後何年もケアが必要だと感じました。4月に活動した時の子供達との再会もまた感動的でした。

教員採用試験は1次は突破。大学院の受験も終わりました。すぐ2次試験です。教員になるためもう少し精進します。

加藤メン: 島キャンプを楽しみにしていましたが、台風で中止になりとても残念でした。しょうがないので畑で作業しましたが、いじけていました。早生の豆を試験栽培しています。来年から本生産に入りますので、来年のお盆頃にはみなさん畑を手伝ってください。

横山結花さん(ひつつみ): 今年から水泳教室に参加しています。後期からは土曜サッカーにも参加します。夏のキャンプでは田沢湖キャンプに参加しました。普段と違う子供達の姿を見て体験し、先輩たちの行動を見て自分はまだまだだと感じ、リーダートレーニングを重ねて成長していきたいです。

三田メン: 東日本区のユース事業主査になりました。9月のユースボランティアフォーラムに参加してきます。「フックと

盛岡さんさ踊り、富士宮焼きそば出店！

8月1日～4日、4日続けてさんさ踊りのお祭りに、内丸教会で富士宮焼きそばを販売しました。コロナで4年の中断の後復活させました。さすがに4年も中断していると準備が大変で、「おっくうだな」と始めは感じました。が、しかし。人権カルタのグループがカルタ作成の資金を確保したいとの意向を聞いて、やる気にスイッチが入りました。前日から着々と準備を始め、当日を迎えました。食材の準備、会場の設営、よしできた。焼きそばを焼いて、販売開始です。とその前に、自分たちが販売する焼きそばがどのような味か、全員に試食してもらいました。「どうだい？美

スピーチの時間は制限なしで行いました。何を話したかよく覚えていませんが、この後特集しています。怖い。



8月納涼例会集合写真、井上ご夫妻、いいですね。

「アイボ」の2名のリーダーとともに参加します。不登校の子供に対する講演会を熊本YMCAの「ひげたまご」(伊藤慎太郎さん、盛岡YMCA出身)に行ってもらいます。

藤田楓さん(チーノ): 島キャンプに参加して、水泳教室での子供たちの姿とはまた違う一面を見ました。子供たちの前で、緊張してしまう自分がいました。準備が大事ですね。台場で1日短縮のキャンプでした。(青森出身のチーノは津軽弁を披露してくれました。)

井上メン: 皆さんのお話を聞いて、大人と若者が同等の話が出来るのはYMCAだけです。YMCAの教育は君たちが社会に出た後、良かったと思うことでしょう。

井上優子メネット: 映画が好きで、井上と一緒にアクション物を見に行きました、冷房が効きすぎて井上が体調を崩して、出ていきました。映画館はだめかもしれないので、自宅で古いアクション物の映画を観ています。40年前の映画を3週続けて観ました。シリーズものでダイハードでした。

渡邊夏生さん(チューバ): 今、目指している資格は、危険物の1～3まで取ろうとしています。さらに無線通信士も欲しいな。

長岡会長: 私は生まれも育ちも盛岡です。盛岡弁は体の芯までしみ込んでいます。普段、盛岡弁は出ませんが、年寄を相手にすると、普通に訛ります。(この後、じゃじゃの活用方法で、会場が大盛り上がり。なんの話かわけがわからなくなりました。)

味しいかい」、全員富士宮焼きそばの美味しさに感動してくれました。これで、セールスにも気合がはいります。

1日目、2日目は100食ずつ、200食販売。これで利益分岐点を突破。3日目は気合を入れて150食販売。4日目は最終日、お祭りの終わりは寂しいもので早々と客足が遠のき、約30食売れ残り、でも70食売上りました。4日間で420食販売。純利益は107,390円。やった～10万円を超える資金の確保ができました。

4日目は雫石の軽トラ市にも出店して、こちらは盛岡クラブの運営。少しだけ利益を確保できました。

よく頑張りました、夕立に見舞われパレード参加者は

始める前から全身ずぶ濡れの団体がありました。焼きそばを売る事より、参加者にエールを送り、「負けなくてこの雨はもうすぐ上がるよ、絶対中止にはならないよ。盛り上がりましょう。」自分たちの事だけではなく、さんさ参加者を励ます、この心意気に私は感動しました。この心が盛岡YMCAリーダーズですね。こんな若者が盛岡YMCAを支えています。今年3月に卒業したリーダー達、現役のリーダー達、4年のブランクは内丸教会での焼きそば販売は初体験と聞いて少しびっくり、今年さんさでの焼きそば販売を復活させて本当に良かったと思いました。来年も頑張ろうぜ。秋には県立大学、盛岡大学の学祭での販売を予定しています。それで人権力

島田 茂さん 奉仕をして、そのままYMCAと共にと言うパターンが多いのですが、私は就職先がYMCAで、それまではいっさらタの予算を突破して、「子供の人権カルタ」は次のステップに進むことが出来そうです。



やった～、大成功。成功体験が私たちの糧になる。

「ブリテン盛岡DAON」

もりおかクラブの状況報告

8月の出席率	5/15	33 %	ゲスト 4名	ビジター 0名	メネット 1名		
メーキャップ	0名			8月切手	50g	g	累計 105g
8月のにこにこ	0円	累計	0円	焼きそば	0円		累計 0円
8月 石鹸	0円	累計	0円	りんご	0円		累計 0円
8月 献金	0円			ファンド合計		円	

会費の納入をお願いいたします。岩手銀行 松園支店(店番号 082)普通口座 2145674

もりおかワイズメンズクラブ 会計 大関 靖二

8月のハッピーバースディ 8/29 井上メン 誕生日おめでとうございます。

ブリテン200号発行記念、幻の100号を振り返る

今月のブリテンは200号です。200回もブリテンを書いてきました。よく続けてこられたものです。過去の100号ブリテンは2016年4月でした。でもこの100号、皆様には99号としてお届けしております。2月に発行の97号は、本当は98号でした。5月は101号になりましたので、皆様には100号としてのブリテンは無かったです。100%編集のミスでした。かわいそうな100号ブリテンには何を書いたか、改めて記載します。100号のブリテン発行時の会長は大関メン、2回目の会長職でした。

4月の定例会は9日、大関、及川、長岡、井上、井上優子、山口、三上、三田、濱塚、小川(敬称を省略) ゲストは島田 茂さん(日本YMCA同盟総主事)、武田 悠さん(ゴリナ)、安久津 里彩さん(あさり)、東海林 俊一さん(ますお)、山田 夏美さん(エルポー)、昆 由理絵さん(ゆりぼ～)、卓話は島田茂さん、

「私はYMCAの子供です。」

日本YMCA同盟総主事 島田 茂さん
皆さん今晚は、YMCA同盟の島田です。今晚は私の生い立ちなどを皆さんにお話ししたいと思います。私は、YMCAがあるからこそこの世に生を受けたYMCAの子です。YMCAとの関わりでは子供の頃教室やキャンプに参加して、リーダーのご



いYMCAと関わっていませんでした。小学校の頃スキーキャンプに参加していた同級生にはうらやましいような気持を持っていました。私は勉強がまったくできない子でした。とくに小学校高学年の先生にはすべて否定されてきました。学校に行くこと自体が嫌悪でした。母親にずいぶん心配をかけました。

自分の意思で行動していたわけでもないのに、YMCAと繋がっていく自分の人生の不可思議さを感じています。絡まった糸はすべてYMCAに繋がっていたのです。



西宮クラブ、7人のメネットが来県

東北大震災のあと、西宮クラブは宮古の授産施設の商品を買い入れ、販売を行うという活動を行い、宮古市との繋がりが太くなってまいりました。今回の西宮クラブのメネット7名が、チャリティコンサートの収益金を直接宮城、岩手の被災地支援に寄付したいと東北へいらしてくださいました。心から歓迎いたします。どうぞ岩手を堪能してってください。もりおかクラブ有志もお供して来ました。3月30日31日、前日宮古入りしたメネット方と宮古市で合流。濱塚メンが運転するマイクロバスで、まずは田老町山王

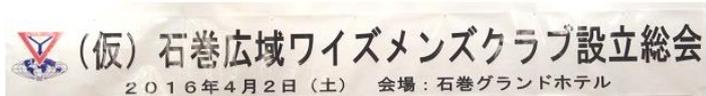
岩へ、雄大な北三陸の断崖と巨大地震でも倒れなかった山王岩を見物いたしました。



浄土が浜をバックに、展望台より。

懇親会で、しっかり援助金を盛岡YMCA濱塚総主事が受けとりました。本当にありがとうございます、5年も経過してなお被災地を支援して下さる活動と行動にこころより感謝申し上げます。回の被災地ツアーを通して、西宮クラブの充実した活動や組織の運営、大いに参考にさせていただきます。将来もりおかクラブもこのようになればいいと思った次第です。

石巻広域ワイズメンズクラブ始動！



4月2日、石巻広域ワイズメンズクラブ設立総会が、石巻グランドホテルにて開催されました。東日本区の役員、各クラブの代表が大勢列席する中、21名のチャーターメンバーが華々しくお披露目です。仙台地域のクラブで4番目のクラブになります。

初代会長、平井孝次郎さん 北東部にまた輝かしい光が灯りました。心よりお喜びを申し上げます。直接津波の被害を受けた、石巻市を中心に集まったメンバーはワイズの旗の下に地域のため、子供達のため、YMCAのため、なにより石巻市民のためにどうぞご活躍ください。石巻クラブ設立に尽力くださった、清水弘一さんのご努力には頭が下がります、設立までの経過を伺いました。こんなブリテンの記事程度では語りつくせない経過がそこにはありました。初代会長の平井孝次郎さんのお話しの中にも、石巻にクラブを立ち上げる生みの苦しさが語られておりました。

編集後記

今年の8月は台風襲来の月でした。5号が大船渡に上陸、島キャンプが1日短縮となり、もりおかクラブ有志のキャンプ参加も中止になりました。さらに7号、関東をかすめて通過、上陸して東北に来たらと心配していました。そして、10号は全く進路の予想がつかない迷走台風で、関東に上陸後、列島を縦断するコースから全く違うコースをたどり、30日現在九州に上陸後、停滞するとんでもないやつです。西日本の皆様お見舞い申し上げます。まだまだ被害は続いて発生しそうですが、なんとか乗り切ってください。

スピーチの特集で、濱塚メンのスピーチがありません。長岡

はメンバーの語りを乗っ取り、ほぼ全員のスピーチに割り込みました。自身のスピーチもその乗りで、ピー、の連続。長岡

第3回北東部会評議会開催

2015～16年度、最後の北東部評議会が盛岡で開催されました。中川部長、あとは大会の報告でお務め終わりですね、最後の山は資料の整理で大変でしょうが、もう少しです頑張ってください。次期北東部のことについて貴重な意見がだされました。南北に400Kmにも及ぶ北東部、評議会に出席するだけで毎回交通費の援助がかさみます。全体の評議会は1回にして、2回は南北東部、北北東部に分かれ、部長、副部長を相互に選出して評議会を行うというものです。今期から、各部の活性化を求めていますので、これはやって見る価値がありそうです。

次期北東部運営についても活発な意見がだされました。被災地少年サッカー、リーダーズアクト、福島相馬野馬追祭りへの参加など。充実した活動となるよう、ご協力をお願いいたします。



中川部長ご苦労様でした。大会まであと少し、頑張ってください。

熊本、大分地震被害お見舞い申し上げます。

なぜ、こんな事が起きるのだろう。被災地で暮らしている人たちが何をしたのだろう、こんな試練は必要ないと思います。突然襲ってくる自然災害の恐ろしさ。今回も大変な事態が起きてしまいました。心からお見舞い申し上げます。熊本といえば昨年岩国みなみクラブとの交流会を萩市で行い、熊本みなみクラブと3クラブで行いました。熊本南クラブの方々も無事ではないでしょう。どのように暮らしているのでしょうか、ほんとうに心が痛みます。東北各地の行政は、被災地でのケアのノウハウを持つ人材をどんどん派遣しております。全国のYMCAや、ワイズメンズクラブの支援の情報を聞くにつけ、思い出すのは5年前です。日本人の団結力や、どんな困難の中でも理性を失わない事など熊本でもやはりそうですね。出来ることはすべて行います。復興して日常の平穏な生活に戻るまでなんとか乗り切ってください。

の発言がしばしば問題になりますが、今日の濱塚メンは、とりとめの話でスピーチが混乱、こんな一面もあったのですね。

やきそば最終日、売れ残りを必死に販売しようと、離れた人々に大声で声掛けするリーダー、「もういいよ、やめよう」と言って販売終了、残りはお土産で持ち帰ってもらいました。



例会初参加のチーノ、しらたま、ひつつみ、しらたまはおなじみですね